

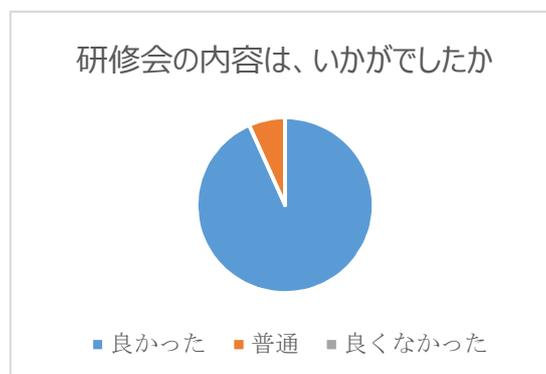
笹川記念保健協力財団 看護研修会 in 東京「在宅看護と災害」

アンケート集計

参加者 100名 回答数 45名 回答率 45% (WEB 集計方式)

1. 研修会の内容はいかがでしたか。

良かった 42名
普通 3名



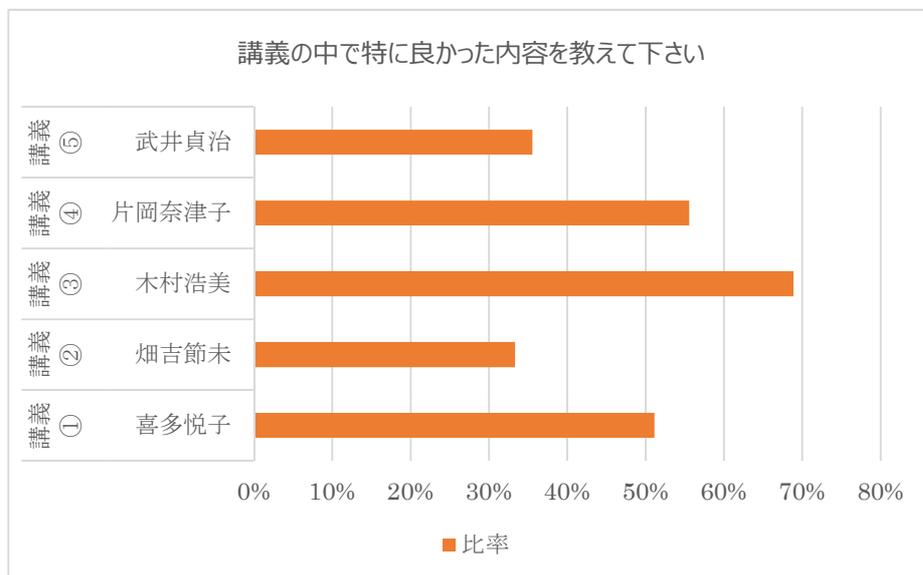
2. ご自身の仕事や活動、研究に役立つ内容でしたか。

非常にあった 38名
普通 7名



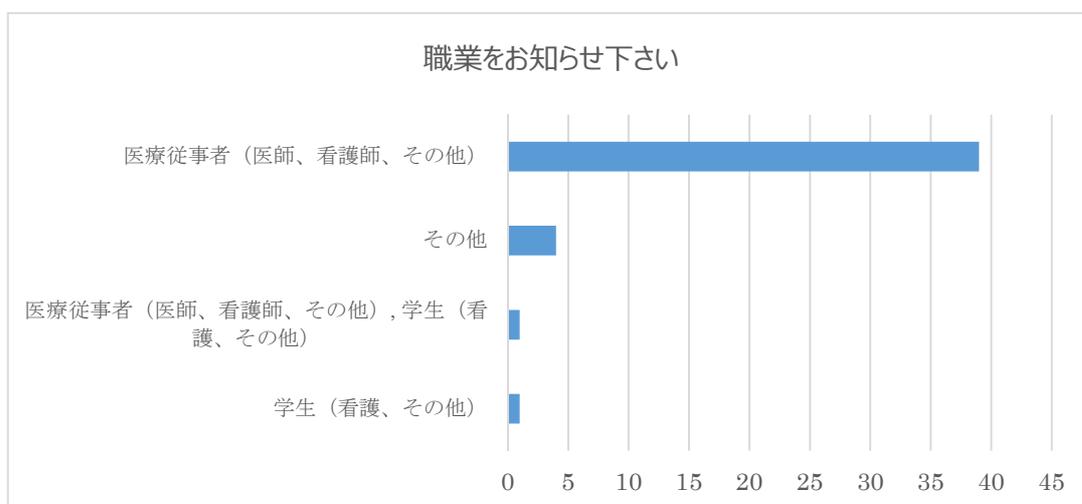
3. 講義の中で特に良かった内容を教えてください。(複数選択回答)

講義の中で特に良かった内容を教えてください。	名前	数	比率
講義①	喜多悦子	23	51%
講義②	畑吉節未	15	33%
講義③	木村浩美	31	69%
講義④	片岡奈津子	25	56%
講義⑤	武井貞治	16	36%



4.職業をお知らせ下さい。

医療従事者（医師、看護師、その他）	39名
医療従事者（医師、看護師、その他、学生）	1名
学生（看護、その他）	1名
その他	4名



5. 「災害」について今後、さらに聴きたい内容を具体的に教えて下さい。（記載、自由形式）

回答数 34 件

- ・訪問看護としての具体的な備えや、実際災害時の対応で改善されたことなど
- ・場の生の声が聴きたいです。本日のように現場での様の声が聴けるとニュースだけでは伝わり切れない現場の声がわかり支援の考え方がかわった。
- ・計画や具体的内容について
- ・DHEAT についてより具体的な内容、今後の取り組みについて聞きたい。(複数回答あり)
- ・災害時の「緩和ケア Ns として貢献できることは何か。被災者の声 (複数回答あり)
- ・施設で地域住民を受け入れるための準備
- ・マニュアルにていて、利用者の自助力を高めるための実際の啓発活動について
- ・災害時の他職種との連携について
- ・災害を体験してステーションとしての備えは変わったか。変わったのであれば具体的に知りたい。備品や利用者、スタッフへの指導などでの変化。(複数回答あり)
- ・今回聞いた方々の講義をもっと詳しくききたい。震災後の動き、必要だと思ったとを細かく知りたいと思った。内容濃いものだったが、駆け足しだったのが残念だった。もっと時間をかけてききたかった。
- ・ステーションでの危機管理統一できないか
- ・福祉避難所について
- ・慢性期等におけるメンタルケア
- ・災害救助法について知りたい。
- ・南海トラフ地震に関連したこと (何を備えるべきか等)
- ・オリンピックに向けてのテロ発生時の対応や感染症拡大防止
- ・多職種連携におけるチームリーダーとチームワーク、Man made disaster の事例を聴きたい
- ・災害時 物資がない時の工夫の方法 予防で準備していたことがいいことなど
- ・地域の特殊性によって災害対策上異なる点多いと思いますので、さらに研究を続け、一般化できること、地域の特性に応じること等の研究を進めていただきたいと思います。
- ・被災者の方の体験談は勉強になりました。災害後にとられた具体的な連携や対策について、実例をもっと詳しく伺いたいと思います。
- ・訪問看護各ステーション同士の連携
- ・災害支援をした看護師の視点からの講演
- ・医療連携、支援方法
- ・今回災害の備えについて学び、周囲の危機感のない人々にどのようにつたていけばよいか考えさせられました。何回聴いてもよいと思う内容ですので引き続き企画していただきたいと思います。
- ・平時からの (訪問) 看護のネットワーク、災害時 (フェーズ) に応じた訪問看護 ST と医療機関との連携の在り方、訪問看護の災害対応の (直接・間接) 費用負担の在り方
- ・在宅における具体的な訓練方法と内用・地域での連携について
- ・訪問看護における具体的方法
- ・マニュアル作成の内容

6. 研修会の企画・運営、財団への要望等がございましたら、お知らせ下さい。（記載、自由形式）

回答数 19 件

- ・研修に参加し、いつも自分の役割を考えます。仲間にも会える機会であり、継続してほしいです。
- ・地域丸ごとケアの先進地域の事例、運営に関する内容を聞きたい
- ・いつも研修企画運営ありがとうございます。毎回楽しみにしています。飛行機のチケットを取らないといけないので、日程がもう少し早く分かると助かります。(複数回答あり)
- ・無料で参加出来ることが大変ありがたいです。講師の方の話が大変良かったのですが、時間が足りないように思えました。
- ・高齢者の終末期ケア フレイル・慢性疾患の軌跡を捉えて
- ・小規模なステーション同士が交流できる場、何か困った時に相談ができる窓口がないので連絡協議会とどのように関わっていけばよいのか分からない。
- ・在宅の災害に関する研修の企画をまたお願いします。
- ・親が病気になった子供への関わり方
- ・医療的ニーズのある子どもへの支援、システムづくり。各地域で行うことはできませんか？北海道から参加いたしましたので、北海道地域でも研修会等を行っていただきたいです。
- ・スタッフの皆さまも爽やかに感じ良く対応してくださり、講演も全てが勉強になるものでした。ありがとうございました。
- ・大変勉強となりました。実体験をされた方のお話は特に心に響きました。
- ・介護分野での研修
- ・出来れば1日の研修会を希望します。
- ・看護小規模多機能の運営と実情を知りたいです。